

## 第2回福井市再生可能エネルギー農山漁村活性化協議会

1. 開催日時

令和2年10月13日(火) 15:00~16:30

2. 開催場所

福井市役所本館8階 第8会議室(A及びB)

3. 出席者

別紙 名簿のとおり

4. 会議の内容

事務局	1 開会 開会を宣言。
会長	2 あいさつ 井上会長よりあいさつ。
事務局	3 協議 (1) アンケートのまとめと地域づくりの方向性について 事前アンケートの回答集計結果及び協議会の役割を説明。
会長 事業者	次の説明を事業者に求めた。 協議会における具体的な取組例について説明。
会長	質疑 ここまで事務局及び事業者側から説明があった内容に対して質問がないか、各委員に伺いたい。
委員	発電事業者からの売電収入の還元以外に、市の予算を投入することはあるのか。
事務局	原資は発電事業者からの売電収入の還元である。取組によっては市と一緒に取り組んだ方が効率的であれば取り組みたい。
委員	国見岳森林公園については、施設マネジメントアクションプランにて廃止が決定しているが、風力発電稼働は4、5年先になるため、空白期間がある。跡地活用等については風力発電稼働までにこの協議会で市も共に検討したい。 観光資源や農業資源が点在しており、これを線として繋げ、森林浴のように歩き回れる林道のような道があると良いのではないかと。

事務局	線として繋ぐために観光資源等の点をこの協議会にてご提案いただきたい。
会長	質疑応答を終える。農村漁業の健全な発展に資する取組である、地域貢献策の内容についてはどうか。
委員	福井県の森林・林業基本計画によれば、大きな杉は需要が無く、列状間伐などが進められている。風力発電機の建設位置が、間伐に適した時期を迎えている人工杉林なのであれば、本計画に合わせた間伐を行えば良いのではないか。杉の下では森林浴にも適さないことから、それに合わせた間伐、植樹等の必要があると考える。
委員	杉の列状間伐を行うことで、自然の広葉樹と人工杉が交互に入り混じった山林を目指すといった方策があるが、育ちの良い木ばかりを伐ったり、縞々の山になったりということ、森林所有者から中々理解が得られない。理解が得られるのであれば、民有林でも実施していきたい。伴って広葉樹の混じった森林でのセラピーやトレイルラン等の森林レクリエーション導入も検討していきたいと考えている。
委員	福井の魅力はオリーブや他所にはない野菜や漁業資源と考える。全国に発信するような観光開発が望まれる。また、体験田んぼ・収穫等も実施したい。
事務局	地域の方との連携と市の協力・政策が重要である。「体験観光」というのは今後の観光のポイントになる。
事業者	色々な地域おこしに携わる中で、地域にある良いものを全国に情報発信できていない、それを体験する場が無いというのはよく耳にする。その解決策として、道の駅のようなものを地域に作るという取組を支援している事例はある。情報発信機能、物販機能のある施設の整備等も良いのではないか。
委員	福井市におけるペレット等の生産と需要は現在どのようになっているのか。 植林などの林業体験を地域貢献策として行っている例があると聞いたことがあるが、福井に人を呼び込むような良い方法はあるか。
事務局	美山町森林組合の場合はC材が7割近くであり、大野のバイオマス発電に利用されている。福井市内では、ペレット加工施設が充実していない。
事業者	まずは情報発信として、家庭で使用されている電気はここであるということを知ってもらう必要がある。その上で、電気の作られている風力発電等の見学というアイデアは

	あるが、FIT という枠組みの中でどこまでできるかは検討しなければならない。
委員	売電収入を前払いで一括して支払ってもらうことは可能か。
事業者	10 年一括払い等は難しい。
委員	先程挙がっていた、道の駅等の施設整備の場合、資金面についてどうするのか疑問を感じた。
事業者	道の駅等施設整備は、行政が行う場合と、TPP、PFI といった民間で資金調達する場合があるため、必ずしも一括で大金を準備する必要はない。
会長	売電収入は風の良し悪しで左右されるが、資金の繰り越しは可能なのか。
事務局	売電収入について、使いきれなかった分を繰越したり、ある程度貯めた上で使用したりすることを想定している。また、道の駅等施設整備については、作る目的・意義等をまとめる必要がある。
委員	地元の農林水産業から資金提供を募ることは可能か。
事務局	道の駅等によって、地元の農林水産業の売上が上がる可能性はあるが、寄付という形で資金提供してもらえるかは分からない。
委員	質問になるが、他の電気需要家へ売電するという事は無いのか。
事業者	現在の FIT の考え方として、地域の電力会社が電気を固定価格で買い取るという仕組みになっている。
委員	新たな道路の必要性を感じる。地権者の同意を得られるか心配ではあるが、協力していきたい。
委員	採算性のある道の駅等を目指してほしい。

## 福井市再生可能エネルギー農山漁村活性化協議会 名簿

役職	所属	出欠
委員	東洋大学経済学部総合政策学科 教授	○
委員	HARU 環境技術士事務所代表	○
委員	鷹巣自治会連合会長	○
委員	国見自治会連合会長	×
委員	棗自治会連合会長	○
委員	鶉自治会連合会長	○
委員	本郷自治会連合会長	○
委員	安居自治会連合会長	○
委員	福井森林組合代表理事組合長	○
委員	福井県農業協同組合 福井基幹支店 営農部部长	○
委員	日本風力エネルギー(株) 事業開発 シニアマネージャー	○
委員	福井県福井農林総合事務所林業部長	○
委員	福井市農林水産部農政企画課	○
委員	福井市市民生活部廃棄物対策課	○
事務局	福井市農林水産部林業水産課	○